

染め方

ゴム手袋の着用をおすすめします
(Tシャツ1枚を染める場合は、
下記の分量が半分になります。)

染色ポイント

- 淡色にするには染料を減らす(助剤は規定量を使用する)
- 染料は自由に混色できる

- 濃くする方法 (1~3の組み合わせも可)
 1. 染色温度を上げる (50°C以上)
 2. 染料および助剤を増やす (1.5~2倍 ※助剤も同比率で増やす)
 3. 染色時間を長くする (30~60分くらい)

植物繊維 など

(綿・麻・レーヨン・キュプラ・ビニロン)

1 布を洗う



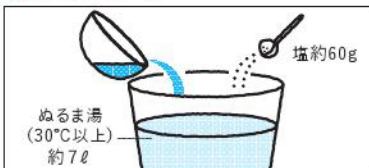
染めるものの汚れ・しみ・のり気を洗い落として濡れたままで置きます。

2 染料を溶かす



染色容器とは別の1ℓくらいの耐熱容器に染料を入れて、熱湯約500mlで粒が残らないようによく溶かします。 ※溶けにくいときはお湯を加えます。

3 染め液を作る



染色容器にぬるま湯(30°C以上)を約7ℓ用意し、②の染料と、塩約60gを加え、計約7.5ℓとします。

4 布を入れ、20~30分染める



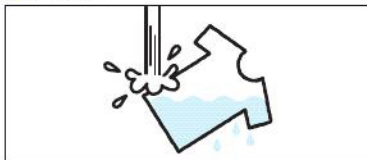
濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20~30分染めます。

動物繊維 など

(絹・毛(ウール)・ナイロン・ポリウレタン)

※繊維の性質上、急な温度変化や、粗雑な扱いをすると、繊維が縮むのでご注意ください。

1 布を洗う



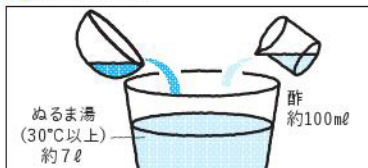
染めるものの汚れ・しみ・のり気を洗い落として濡れたままで置きます。

2 染料を溶かす



染色容器とは別の1ℓくらいの耐熱容器に染料を入れて、熱湯約500mlで粒が残らないようによく溶かします。 ※溶けにくいときはお湯を加えます。

3 染め液を作る



染色容器にぬるま湯(30°C以上)を約7ℓ用意し、②の染料と、酢約100mlを加え、計約7.5ℓとします。

4 布を入れ、20~30分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20~30分染めます。 ※毛糸・毛織物は縮みやすいので、静かにかきまぜながら染めます。また、目の粗いアミ袋に入れて染めると、縮みを防ぐことができます。

植物・動物繊維の混紡品

混紡品を染めるときは、それぞれの繊維に必要な助剤(塩と酢)を併せて使います。

△ 助剤を入れる順番を間違えると染まりません。

植物繊維の工程の①~③

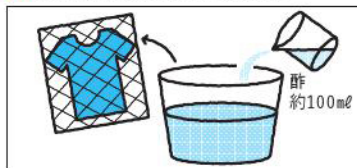
4 布を入れ、10~20分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約10~20分染めます。

※毛糸・毛織物は縮みやすいので、静かにかきまぜながら染めます。また、目の粗いアミ袋に入れて染めると、縮みを防ぐことができます。

5 布を取り出して酢を入れる



布を取り出した染め液に酢約100mlを加えます。

6 布を入れ、10~20分染める



布を染め液に戻して、さらに約10~20分染めます。

ソーピング(洗い)へ

1 洗う



染め液から取り出し、水で軽くすすいだあと、台所用液体中性洗剤を溶いたぬるま湯で洗います。
※絹・毛(ウール)は急な温度変化を与えると繊維が縮みますので、すぐには染色した温度よりやや低い温度で行なってください。

2 水ですすぐ



さらに水ですすぎます。

色止め

植物繊維など

綿・麻・レーヨン・キュプラ・混紡品は別売の「色止めミカノール」で色止めすると洗濯での色落ちを減らせます。
※ビニロンは色止め不要です。

動物繊維など

色止め不要です。

3 かけ干しして完成



◆アイロンをかけるときは当て布をする
と繊維が濃れず綺麗に仕上がります

脱水してかけ干しし、アイロンをかけたら完成です。
※染色したものと他のものを一緒に洗濯することはさけてください。